令和３年１２月　「はこでみ親の会」

「第14回はこでみ親の会」を開催しました

今回も保護者同士での本音盛りだくさんのトークで大いに盛り上がりました。

我が子への関わり方の悩み
我が子の今後の見通しが見えない不安
小中学校との連携の難しさ

等々、話し始めたらキリがない程悩み事は溢れだしてきます。

そんな中、明るい光が見える話題もあります。

それは、
「**子ども自身が意欲的に取り組み、継続して楽しめる活動が出来た**」ことです。

今回のお話に出てきた活動は、
将棋
サッカー
YouTube でのゲーム解説
等です。

子ども本人の「**やる気スイッチ**」が入ると、**周りが何も言わなくても、全て自分で考え、準備を行い、段取りを組み、失敗しても自ら気持ちを切り替え、上達するために努力を行うようになります。**

保護者にとっては、「普段は何もしないし出来ないし、親の助けが無かったら困ることばかりだし、挙げ句の果てには出来ないのを親や周りのせいにするのに」と普段とのギャップに怒りを覚える程です。

しかし**、子ども自身の興味が向けば、親が驚くほどのスピードでスキルや知識を吸収し、ぐんぐん伸びていきます。**

今後の将来における「**趣味**」や「**余暇活動**」の獲得の観点から見ても夢中になれることを見つけることはとても重要です。

保護者からすると「もっと必要なものがあるでしょ」「そんなことより皆のように勉強しなさい」と言いたくなるかもしれません。
しかし、どうか子どもが夢中になれる活動を否定しないで下さい。続けさせてあげて下さい。

子ども自身が心から楽しむことが何よりの学びになります。

日常の現実的なお悩みや問題は、一つずつ一緒に対応していきましょう！
と私から参加された保護者の皆さんにお伝えしました。